

Umekiki Menu

2013 AUTUMN



初めてその名前を知るような、日本各地の食材をmekiki。「三重県 伊勢いも」「長野県 村山早生ごぼう」「鳥取県 大山ブロッコリー」「高知県 四方竹」。今回、4つの厳選食材にグランフロント大阪の精鋭シェフが出逢ったことから始まった特別企画。アイデアと技が光る、この時期だけの「スペシャルティ」を見逃さないで。

FOOD STAFF

三重県



Ise Imo
伊勢いも

約300年前より栽培されており、三重の伝統野菜にも選出。外見のゴツゴツした見た目に似合わず、すりおろすと真っ白で粘り強い、美しい食材の姿がお見え。

おいしい理由

栄養価が高く人気があり、「畑のうなぎ」と呼ばれるほど。通常の山いもに比べ灰汁が少なく、強い粘りとクリーミーなコクが特徴。甘みさえ感じられるから驚きだ。すりおろして時間が経っても変色しない点は、さまざまな調理法に適しているといえる。

長野県



Murayamawase Gobo
村山早生ごぼう

信州の伝統野菜。秋暮き夏どり品種で、7月中旬～11月中旬が収穫期。身が白く、太く、灰汁が少ないのが特徴。須坂市名物「みそすき丼」に使われている。

おいしい理由

千曲川村山橋近くの河川敷の肥沃なやわらかい土地で栽培されている。手廻りしてすぐ出荷できるため、鮮度・風味がよい。ごぼうの香りと旨味は皮の付近に多いので、調理の際は、表面をたわしてこする程度に。地元では、慶弔の行事食の食材であるが、栽培者が少なく希少な野菜として珍重されている。

鳥取県



Daisen Broccoli
大山ブロッコリー

大山山系の清冽な良水と、火山灰を含む黒ぼく土壌で栽培されるブロッコリー。大地からの恵みをたっぷり含み、旨味が強く、花蕾(からい)から茎までしっかりと甘い。

おいしい理由

日本で初めて、ブロッコリーを葉っぱと茎が付いた状態で市場に出したのが、この大山ブロッコリー。まだ夜が空ける前から収穫を始めるという「朝採れ中の朝採れ」な状態で市場に届けられる。花蕾の部分の弾けるような固さがあるものが、良品である。

高知県

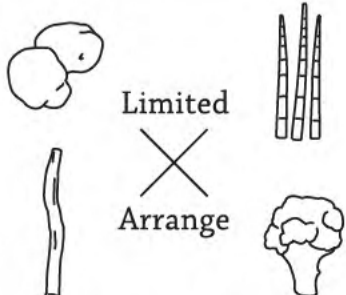


Shihouchiku
四方竹

秋に旬を迎える珍しい竹の子「四方竹」。採れたてをすぐに加工しているので、固過ぎず、柔らか過ぎない独特の耿やかな食感が楽しめる。

おいしい理由

生のままで非常に傷みやすく、しばらく放置するとすぐに変色が始まってしまうほどだ。そのため、地域内消費に留まっていた。しかし近年、皮付きのまま茹で、新鮮なうちに加工する技術が確立され、そうすることで新鮮さを損なうことなく味わえるようになった。



今が旬の4つの素材を、47の店舗がリミテッドアレンジ。
Umekikiだけの、おいしい一皿。

10月18日(金)～11月4日(月・祝)

Umekikiが全国から選りすぐった4つの旬の素材を使って、グランフロント大阪内にある47のお店が、オリジナルの期間限定メニューとして提供。素材の特性を究極まで問い詰めて仕上げた料理や、生産者も驚きのアレンジが加えられた料理などが、バラエティ豊かに登場する。Umekikiが自信を持っておすすめする垂涎の一皿を、どうぞご堪能あれ。



